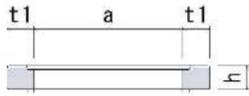


ベイホールのユニット寸法表

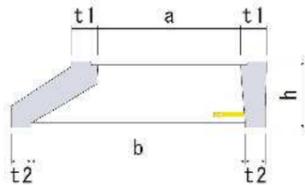
I 類・円形マンホール

調整リング CMR60



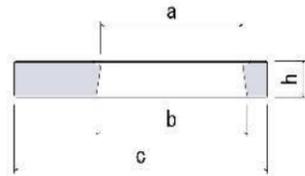
調整リング	寸法(mm)			参考重量 (Kg)
	a	h	t1	
BC-10	600	100	110	59
BC-15	600	150	110	89

斜壁 CM1T



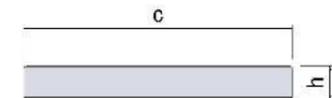
斜壁	寸法(mm)					参考重量 (Kg)
	a	b	h	t1	t2	
1BT-30	600	900	300	110	85	254
1BT-45	600	900	450	110	85	319
1BT-60	600	900	600	110	85	414

スラブ CM1SB



スラブ	寸法(mm)				参考重量 (Kg)
	a	b	c	h	
1BS-15	600	640	1070	150	219

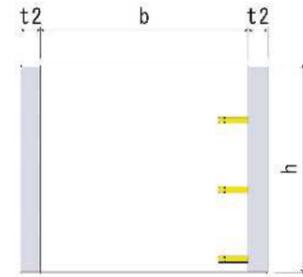
底板 CM1P



底板	寸法(mm)		参考重量 (Kg)
	c	h	
1BBS-13	1070	130	285
1BS-13	1200	130	360

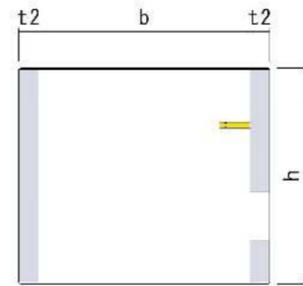
★【I B5】は日本下水道協会・I 類規格【JSWAS A-11】のベイホール I 種の登録番号。
 ※I 種は 5m 以下で使用して下さい。
 ※★は受注生産品です。詳しくは営業までお問合せ下さい。

直壁 CM1S



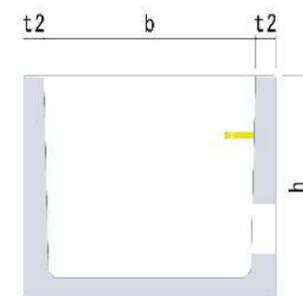
直壁	寸法(mm)			参考重量 (Kg)
	b	h	t2	
1BA-30	900	300	85	191
1BA-60	900	600	85	384
1BA-90	900	900	85	577
1BA-120	900	1200	85	771
1BA-150	900	1500	85	964
1BA-180	900	1800	85	1157

管取付壁 CM1B



管取付壁	寸法(mm)			参考重量 (Kg)
	b	h	t2	
1BAS-60	900	600	85	384
1BAS-90	900	900	85	577
1BAS-120	900	1200	85	771
1BAS-150	900	1500	85	964
1BAS-180	900	1800	85	1157

底付管取付壁 CM1B



底付管取付壁	寸法(mm)			参考重量 (Kg)
	b	h	t2	
1BIF-60	900	600	85	531
1BIF-90	900	900	85	763
1BIF-120	900	1200	85	1014

★※地下水の浸入を防げるため、水位の高い場所での使用に適しています。

ベイホール 組立マンホール

● 確実・迅速な施工性

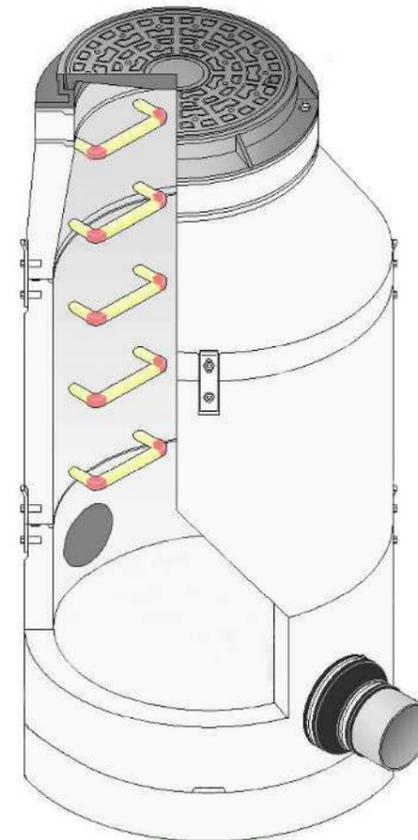
部材間は凹部の溝にベイシールを入れ連結プレートをボルトで連結するため横ズレの防止になり、十分な水密性を発揮します。

● トータルコストの低減

シンプルな構造で製造の手間が省けるので経済的です。また、外面に突起物がないため埋戻し土が隙間なく充填でき、不等沈下防止に繋がります。

● 可とう継手は工場にて取付済

可とう継手が取付済みなので、現場での手間を省けます。



日本産業規格表示認定取得工場

株式会社オーイケ

長野県東筑摩郡山形村54番地1
TEL0263 (98) 2238/FAX 0263 (98) 3804



バイホールの施工手順

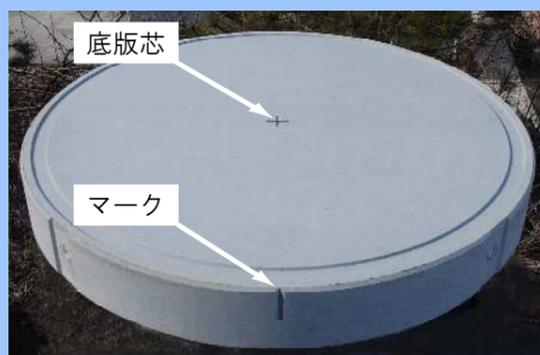
1 掘削→基礎工

- 掘削深さ=マンホール深さ +300+200 になります。
- 基礎工は沈下防止のため、ランマー等で十分に転圧し、水平に仕上げてください。地盤によってはコンクリート基礎や杭基礎等を検討してください。



2 底版据付

- 下げ振り等で、底版芯を合わせて据付けます。底版据付後は、位置・高さ・水平度を必ず確認して下さい。底版にはマークが付いています。必ず**マークを下流側**に向けて下さい。



3 管取付壁の据付

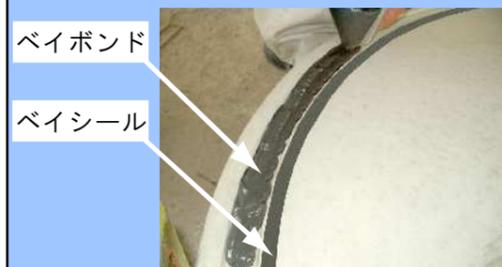
1. 接合面の砂、水分、ごみ等をきれいに掃除して下さい。



2. 中央の仕切棒をはずし、色が均等になるまで混練します。



3. 接着剤の袋から押し出しながらか接合面にムラのないように塗布します。



5 調整リング・受枠据付け

1. 斜壁上部に受枠固定ボルトをセットし、上端部にモルタルを10mm程、施して調整リングを据付けます。



2. ボルトにナットとワッシャーをはめこみ、下ナットで受枠の高さ調整をします。モルタルを多めに敷均し、モルタルを押潰す要領で受枠を設置したら、上ナットで3ヶ所を均等に軽く締めます。

3. 据付け完了です。

最後に埋戻しをし、片側からの偏土圧がかからないようマンホールの周囲から均等に埋戻して十分に埋め固めて下さい。その後、各部材の目地・管口をモルタルで仕上げます。

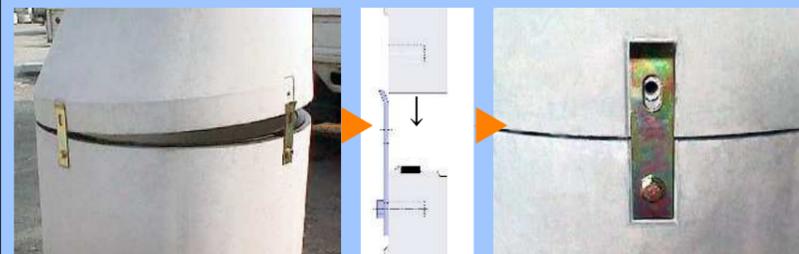
4 接合剤の貼付け→直壁・斜壁の据付け

1. 接合面を清掃し、凹部にベイシールを貼付け金具をセットします。

※底版以外の接合箇所にはベイボンドは使用しません。



2. 接合部を清掃し、欠けやクラックが無いことを確認の上、金具の位置に注意して据付けます。



※専用締付け金具により、圧着させて組み合わせることができます。

- 4 管取付壁を底版の上に据付けます。また、止水性と接着力を高めるため、接着剤のハミ出し部分をコテ等で目地仕上げをして下さい。

